

豊能広域こども急病センターの概要



豊能広域こども急病センター事務局

2020. 2

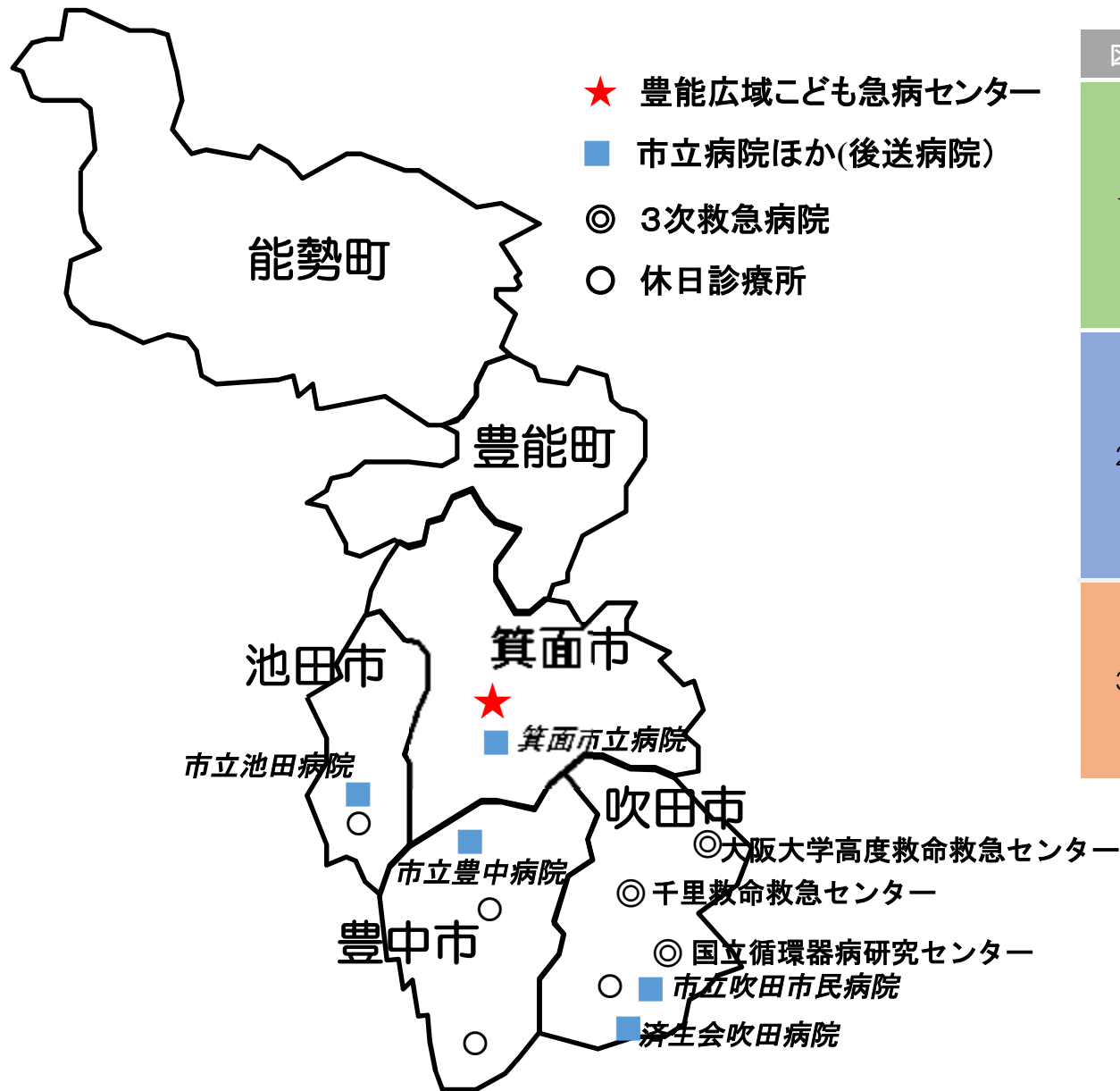


1 施設の沿革、概要

豊能二次医療圏における24時間切れ目のない小児の救急診療体制を実現するため、夜間、休日における一次救急診療を広域的に担っています。

- 平成16年（2004年）4月1日開設
- 医療圏内の医師会、大阪大学医学部附属病院および国立循環器病研究センターの医師が診療に従事
- 当センター受診の重症患者は、近隣の市立病院等5病院が「後送病院」として輪番で入院加療に対応
- 年間約3万人が受診（平日夜間は約40名、日・祝は約200名）
- 一般財団法人「箕面市医療保健センター」が指定管理者として施設を管理、運営
- 箕面市、豊中市、吹田市、池田市、豊能町、能勢町が運営費の一部を応分負担

2 豊能医療圏の救急医療体制について



区分	医療機関	
1次	豊能広域こども急病センター	
	【休日急病診療所】	
	豊中市(2カ所) 池田市(1カ所) 吹田市(1カ所)	
2次	市立豊中病院 市立吹田市民病院 市立池田病院 箕面市立病院 済生会吹田病院	
	3次	千里救命救急センター 大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター 国立循環器病研究センター

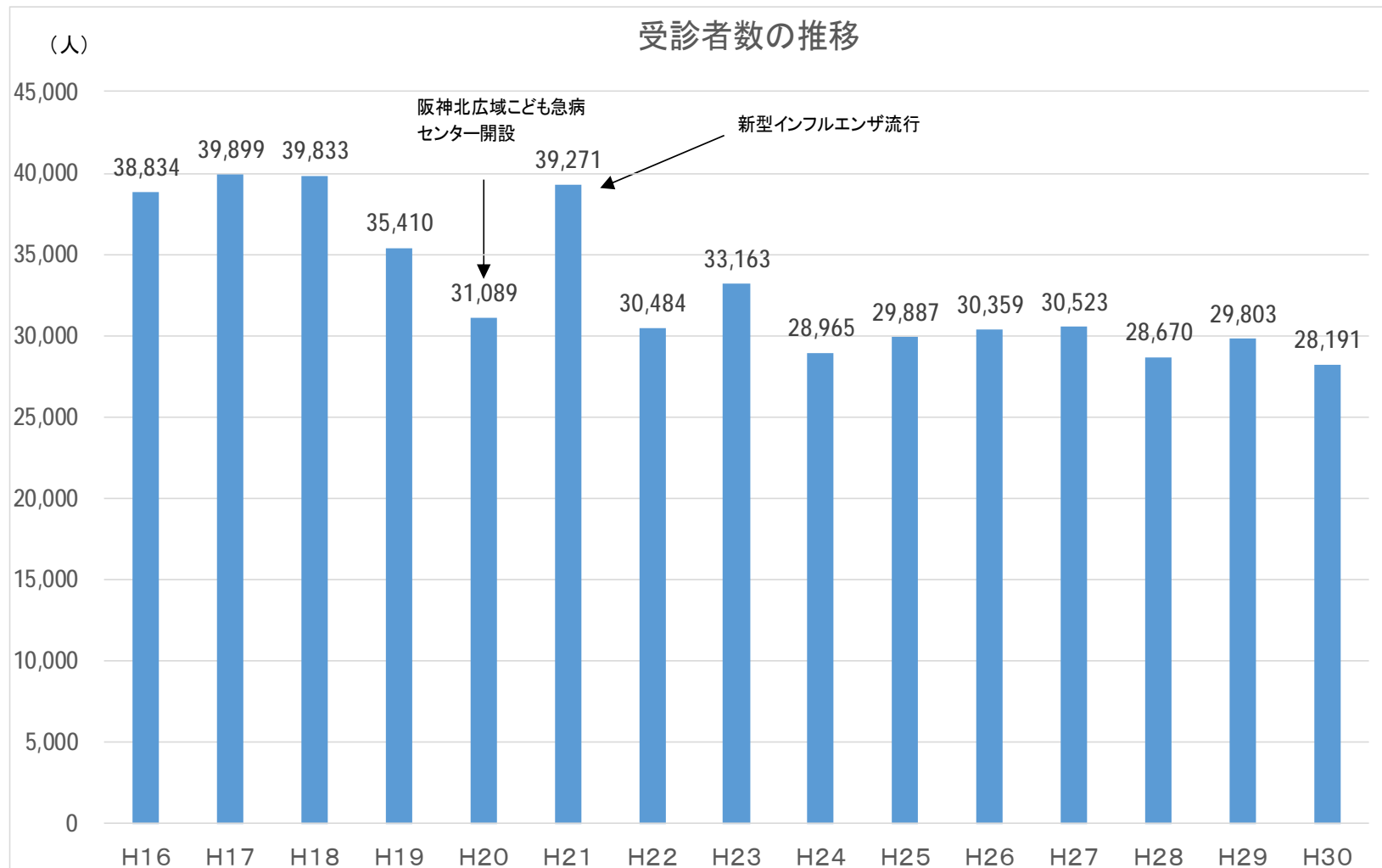
3 豊能広域こども急病センターの受付・診療時間

区 分	時 間	
平 日	受付時間	18:30から翌朝6:30まで
	診療時間	19:00から翌朝7:00まで
土曜日	受付時間	14:30から翌朝6:30まで
	診療時間	15:00から翌朝7:00まで
日曜日・祝日 年末・年始 (12/29~1/3)	受付時間	8:30から翌朝6:30まで
	診療時間	9:00から翌朝7:00まで

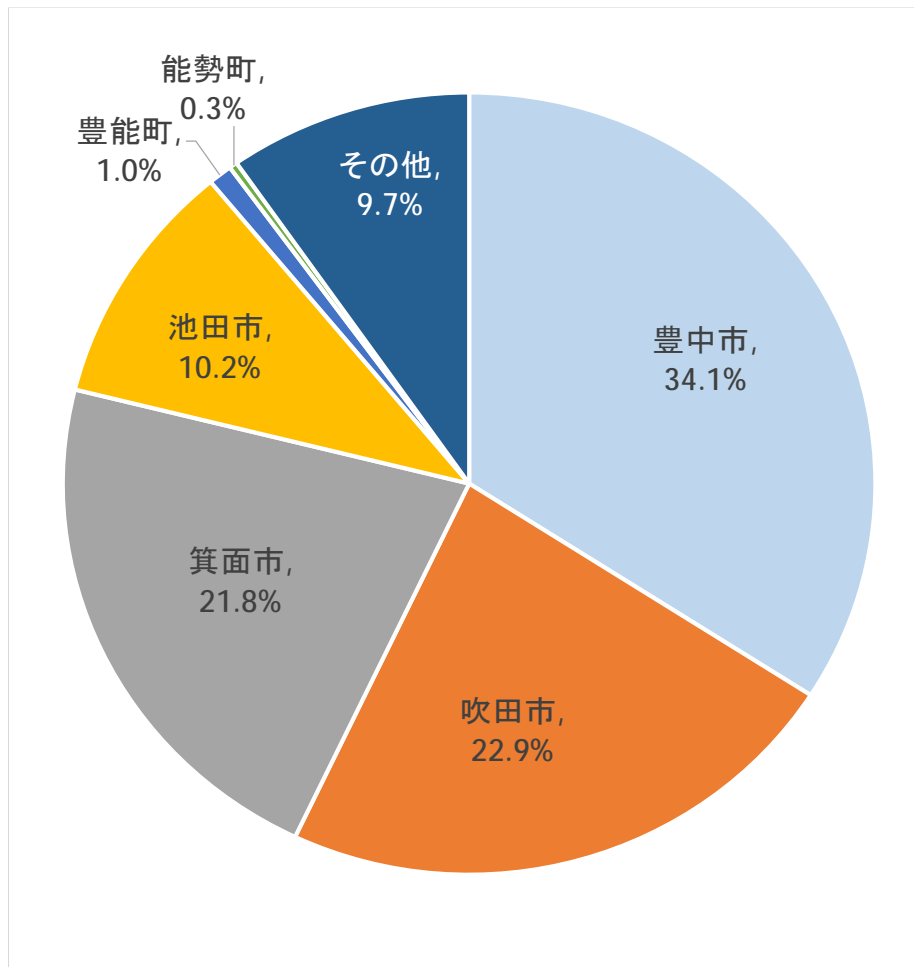
※ 午前6時30分から午前9時の間の一次救急は、輪番病院が担当

4 受診者数（推移）

- ◆ H20からは阪神北広域こども急病センター(伊丹市)が開設され阪神北地区（伊丹市・宝塚市・川西市など）の患者数が減少
- ◆ H21は、新型インフルエンザの流行により、患者数が増加
- ◆ 最近の3年間は、年間3万人を割り込んでいる。

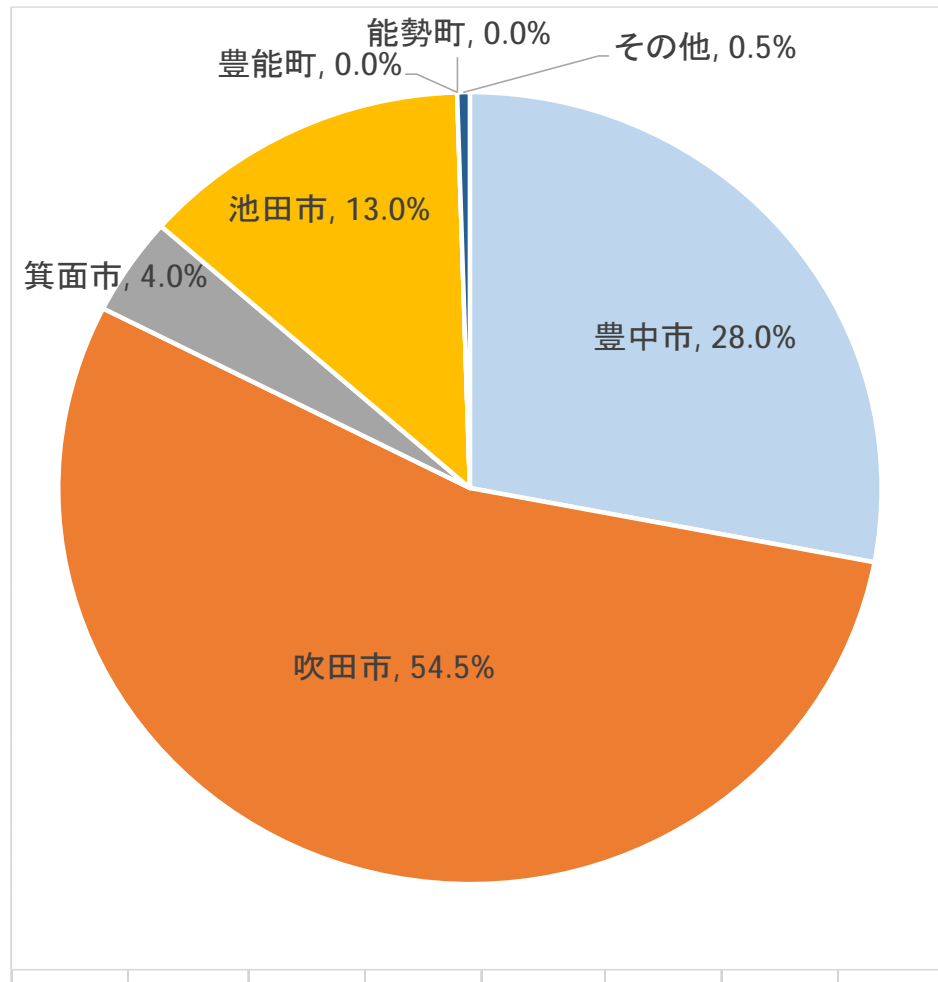


5 市町別の受診者（平成30年度）



地区	受診者数(人)	比率
豊中市	9,614	34.1%
吹田市	6,467	22.9%
箕面市	6,151	21.8%
池田市	2,864	10.2%
豊能町	270	1.0%
能勢町	92	0.3%
小計	25,458	90.3%
茨木市	1,495	5.3%
大阪市	175	0.6%
摂津市	219	0.8%
その他	844	3.0%
小計	2,733	9.7%
合計	28,191	100.0%

6 救急車による患者受け入れ（平成30年度）



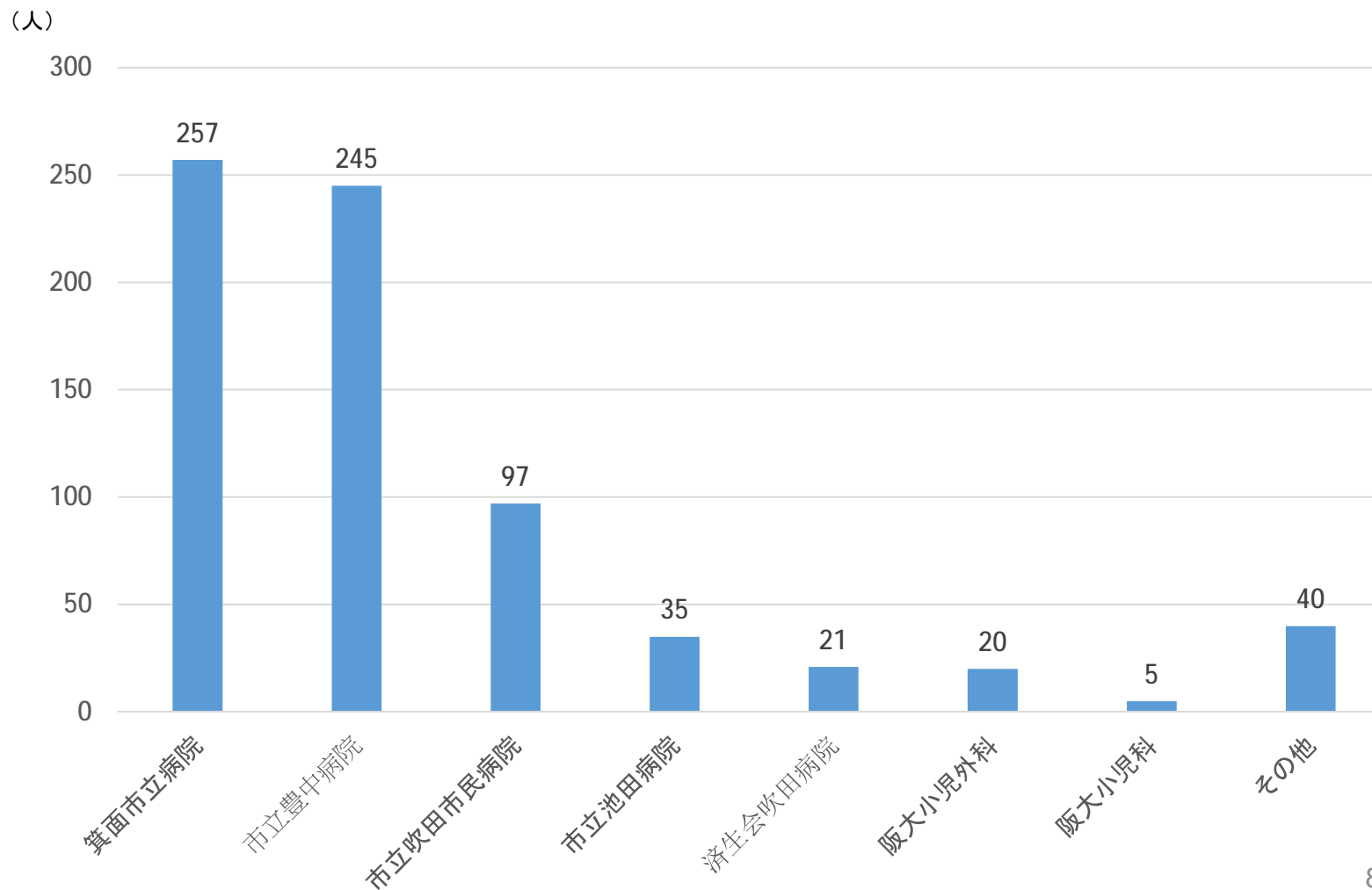
地区	受診者数(人)	比率
豊中市	56	28.0%
吹田市	109	54.5%
箕面市	8	4.0%
池田市	26	13.0%
豊能町	0	0.0%
能勢町	0	0.0%
小計	199	99.5%
茨木市	1	0.5%
大阪市	0	0.0%
摂津市	0	0.0%
その他	0	0.0%
小計	1	0.5%
合計	200	100.0%

7 後送病院への紹介（平成30年度）

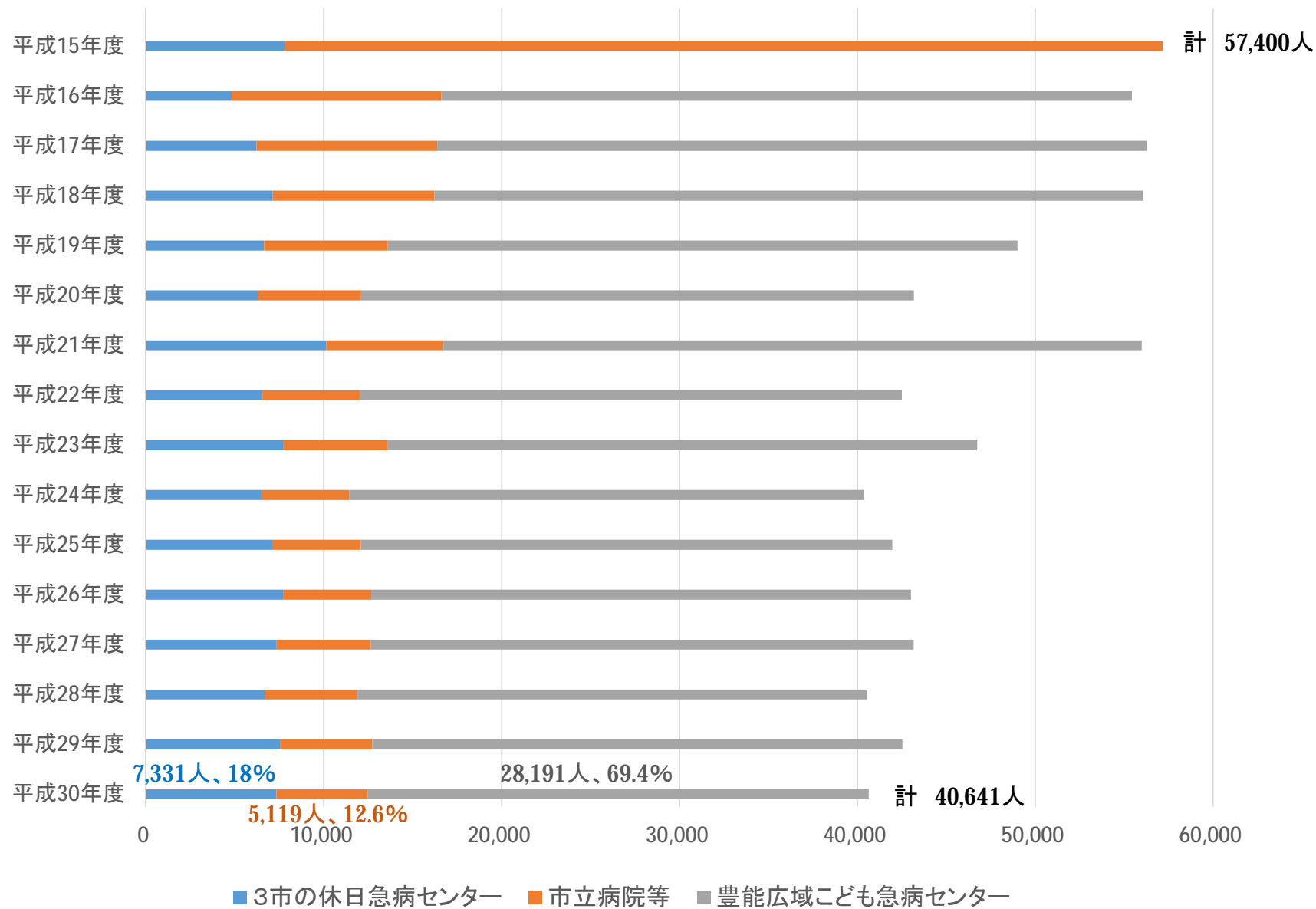
★受診患者総数 28,191人

★内、紹介数 720人

二次後送病院への紹介率は2.55%



8 豊能医療圏の時間外小児救急患者数



9 4市2町負担金

負担金の推移(H16～H30)

- ◆ H20に阪神北広域こども急病センター(伊丹市)が開設され、患者数が減少し赤字額が増加。
- ◆ H21は、新型インフルエンザの流行により、患者数が増加し赤字額が減少。

